

【経済学会 学生懸賞論文 執筆マニュアル】

〈執筆を始める前に〉

甲南大学経済学会ホームページにて公開している、『懸賞論文書き方ガイドンス-準備編-』および『懸賞論文書き方ガイドンス-執筆編-』の2つの動画を必ずご視聴のうえ、執筆してください。

2つの動画では、論文の執筆方法について丁寧に解説しています。

I 論文の要件

- (1) 原則、ワープロ書きに限る。
- (2) A4用紙、横書き(縦置き)、40字×36行/ページ。
- (3) 分量は12ページ以上20ページ以下(題目・目次・図表・アンケート票等の付録類を含む)。
- (4) 日本語はMS明朝(全角)、英数字はTimes New Roman(半角)、共に10.5ポイントのフォントを用いること。
- (5) 論文は未発表作で、一人一作とする(共著の場合も含む)。

II 表紙

- (1) 表紙には以下(a)(b)を記載することは
 - (a) 題目
 - (b) 目次(章のみ)
- (2) 審査は匿名で行うので、氏名・ゼミ名・学年は、表紙及び本文には記載せず、別紙に記入して添付すること。

III 章・節などのナンバリングは以下に従うこと。

- (a) ローマ数字 [I、II、III、……]
 - (b) 算用数字 [(1)、(2)、(3)、……]
 - (c) ローマ字 [(a)、(b)、(c)、……]
- (例) I 変動相場制下の経営収支均衡と国際資本移動
- (1) 1970年代の経常収支不均衡と国際資本移動
 - (a) 1970年代の経常収支不均衡

IV 脚注ならびに引用

- (1) 脚注の付け方
 - (a) 文章の右上に数字を振り、論文の最後に全てまとめ「文末脚注」とする。
- (例) 問題は、市外社会から市内社会に支払われるアクセスチャージによって解消している¹⁾。

- (b) 脚注の数字の付け方は、算用数字 1、2、3……に統一し、(注 1)、(注 2)、(注 3) ……等としない。
- (2) 引用の仕方
- (a) 文献から文章等を引用する場合には必ず「」を付け、著者名・文献名・出版社・出版年・掲載ページ数等を脚注等で必ず明記すること。文献を要約して引用する場合も同様とする。
- (b) 論文の末尾に参考文献表を付ける場合、脚注の注欄を簡単な略記で済ましてもよい。例えば、「平井 (2017)、35 ページ。」のようにできる。
- (3) 引用した文献の記載の仕方
- (a) 書籍の場合著者名『書籍名』(出版社名、刊行年(西暦)、ページ)
(例) 平井健介『砂糖の帝国：日本植民地とアジア市場』(東京大学出版会、2017年、35 ページ)
- (b) 雑誌に掲載された論文の場合著者名「論文名」(『雑誌名』、巻・号、発行年、ページ)
(例) 寺尾建「経済学と経済学者の「自然発生的哲学」」(『甲南経済学論集』、第 61 巻第 3・4 号、2021 年、47 ページ)
- (c) 書籍に収録された論文の場合著者名「論文名」(書籍の編者名『書籍名』、出版社名、刊行年(西暦)、ページ)
(例) 上島康弘「第 3 章 格差社会を生むもの」(広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門：高校数学で解く社会問題』、筑摩書房、2007 年、82 ページ)
- (d) Web ページの場合
著者名「タイトル」(ウェブサイト名、URL、閲覧年月日(西暦))
(例) 森剛志「「億万長者の民主化」で誰でも夢を見られる時代が来る」(PRESIDENT ONLINE、<https://president.jp/articles/-/15870>、2021 年 6 月 8 日)

V 参考文献

- (1) 論文作成のために使用した文献は「参考文献」とする。「参考文献」は、論文・文末脚注の後にまとめる。
- (2) 記載の仕方
- (a) 書籍の場合日本語文献：著者名『書籍名』(出版社名、刊行年(西暦))
(例) 平井健介『砂糖の帝国：日本植民地とアジア市場』(東京大学出版会、2017 年) 欧文文献：著者名 書籍名，刊行地名：出版社名，刊行年。
(例) Hicks, J.R. Value and Capital: An Inquiry into Some Fundamental Principles of Economic Theory, 2nd Edition, Oxford: Clarendon Press, 1946.
- (b) 雑誌に掲載された論文・記事の場合日本語文献：著者名「論文・記事名」(『雑誌名』、巻・号、刊行年(西暦)、掲載ページ)
(例) 寺尾 建「経済学と経済学者の「自然発生的哲学」」(『甲南経済学論集』、第 61 巻第 3・4 号、2021 年、33-53 ページ)
岩井克人「持続可能な資本主義は実現できる」(『週刊東洋経済』、4 月 10 日号、2021 年、40-42 ページ)

欧文文献：著者名．“論文名，” 雑誌名 巻・号（刊行年）：掲載ページ．

（例）Nash, J.F. “The bargaining problem,” *Econometrica* 18 (1950): 155-162.

(c) 書籍に収録された論文の場合日本語文献：著者名「論文名」（書籍の編者名『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦）、掲載ページ）

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門：高校数学で解く社会問題』、筑摩書房、2007年、81-112）欧文文献：著者名．“論文名，” 書籍の編者名 書籍名，出版社名，（刊行年）：掲載ページ．

（例）Shapley, L.S. “A value for n-person games,” in Kuhn and Tucker (eds.)

Contributions to the Theory of Games, vol. II, Princeton UP, (1953): 305-317.

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（ウェブサイト名、URL、閲覧年月日（西暦））

（例）森剛志「「億万長者の民主化」で誰でも夢を見られる時代が来る」（PRESIDENT ONLINE、<https://president.jp/articles/-/15870>、2021年6月8日）

VI 図・表の記載

- (1) 出典を必ず明記すること。
- (2) 必ず通し番号を付けること（表1、表2、図1、図2等）。

VIII 提出方法

原稿は3部印刷し、経済学部教員のチェックと押印がなされた学生懸賞論文チェックシートとともに経済学会コモンルームに提出すること。同時に原稿の電子ファイル（できればWordファイルとPDFファイル）を添付したメールを経済学会コモンルーム（gakkai@konan-u.ac.jp）宛に送信すること。

～相談窓口～

論文の書き方に関する質問や相談をメールにて受け付けています。

お寄せいただいた質問および相談は、経済学会編集担当教員よりご返答いたします。

お問い合わせ先：gakkai@konan-u.ac.jp

※窓口ではガイダンス動画に沿った執筆方法に関する相談のみを受け付けます。

研究内容に関する質問・相談は答えかねます。予めご了承ください。